



# めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2021・7・15

学校だより

## 7月号

ヨハネスブルグ日本人学校

## コロナ第三波襲来、オンラインの中、一学期終了！！

今年度は4月よりコロナ禍でも順調に対面授業が行われておりましたが、ハウテン州内に「デルタ株」による感染が広がり、ついに6月末の大統領声明で学校閉鎖が余儀なくされました。非常に残念な事態となりましたが、7月1日よりすぐにオンライン授業に切り替え、スムーズに授業を行うことができましたことは大変良かったと思っております。

そして、7月14日（水）4校時にオンライン上で一学期終業式を行いました。終業式では、児童生徒を代表して、G3の岡本夏里奈さんとG8の松原遼馬君が日本語と英語で一学期の思い出を発表しました。とても上手で堂々としたスピーチでした。その後、学級活動を行い、一学期を終了しました。



【冬の佇まいを見せる運動場】

## オンライン上で国際理解教育や異学年交流を実施！！

一学期は10日間のオンライン授業を実施しましたが、その中で7月7日に国際理解教育を行い、14日の終業日には、全学年を異学年のグループに編成し、ゲーム等を通して交流を図る会を実施しました。対面の授業であれば、現地校との国際交流ができたり、一学期最後を全学年で一緒になって遊んだりして締めくくりをすることが出来ますが、残念ながら、オンライン上ではなかなか難しいところがあります。そこで、オンライン上でもできる国際理解教育を実施しました。国際理解教育担当の中原先生に「南アの歴史を知ろう」という題名で授業をして頂きました。子ども達にとって有意義な勉強になったのではないかと考えております。また、縦割り班活動では、上級生を中心に「1学期を異学年で楽しい時を過ごして終わろう」という目的で各グループが創意ある活動を計画し、実施しました。この活動も1学期を締めくくる有意義な活動になったと思います。このように、今年もオンライン授業を余儀なくされる場合は、通常授業以外にも適宜、様々な活動を入れながら充実した学校生活を送れるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

- ◆ 令和3年度キーワード 「1に安全, 2に教育, 3に信頼」
- ◆ めざす学校の姿 「夢と勇気と元気をもって、みんなで作ろう楽しい学校」
- ◆ 先生と子ども達の合言葉 「あいさつが元気, えがおが元気, こころが元気」

< 校長室からひとりごと >

～健康で有意義な冬休みを～

終業式当日は、最低気温氷点下1度という寒い日になりました。本来なら凜とした寒さの中、体育館で終業式を行うのですが、残念ながら、今年度もオンラインでの終業式になってしまいました。しかし、子供たちは画面越しではありますがブレザー姿で一堂に揃い、きりりとした表情で参加していました。このように大切な行事に正装で臨み、気持ちの切り替えを大事にするのもJSJの伝統であります。これからも礼節を大事にした教育を進めて行こうと思います。

さて、終業式では、「冬休みは、あなたが先生です。与えられた26日をいかに過ごすかはあなたたちが決めるのです。」また、「与えられた時間をうまく使って、大いに遊び、大いに学ぶことが大切です。」という話をしました。長期休業は、子供たちが大きく伸び成長する日々でもあります。どうぞご家庭においても子供たちが自ら計画し、自発的に行動できるようご支援をお願い致します。コロナ禍の中しかも政情不安な情報もあります。日々の生活に注意し元気に健やかに過ごされることを祈念しております。一学期のご支援ご協力に感謝いたします。

